

日光市の施設や行政サービス、環境などについて、それぞれどのように感じていますか？

平成18年度と比べた場合、設定した20項目のうち、19項目について満足度が上がっています。

特に、平成18年度には満足度が低くマイナスであった「交通事故や犯罪に対する安全性」の項目が、平成21年度にはプラスに転じており、大きく満足度が高まっています。

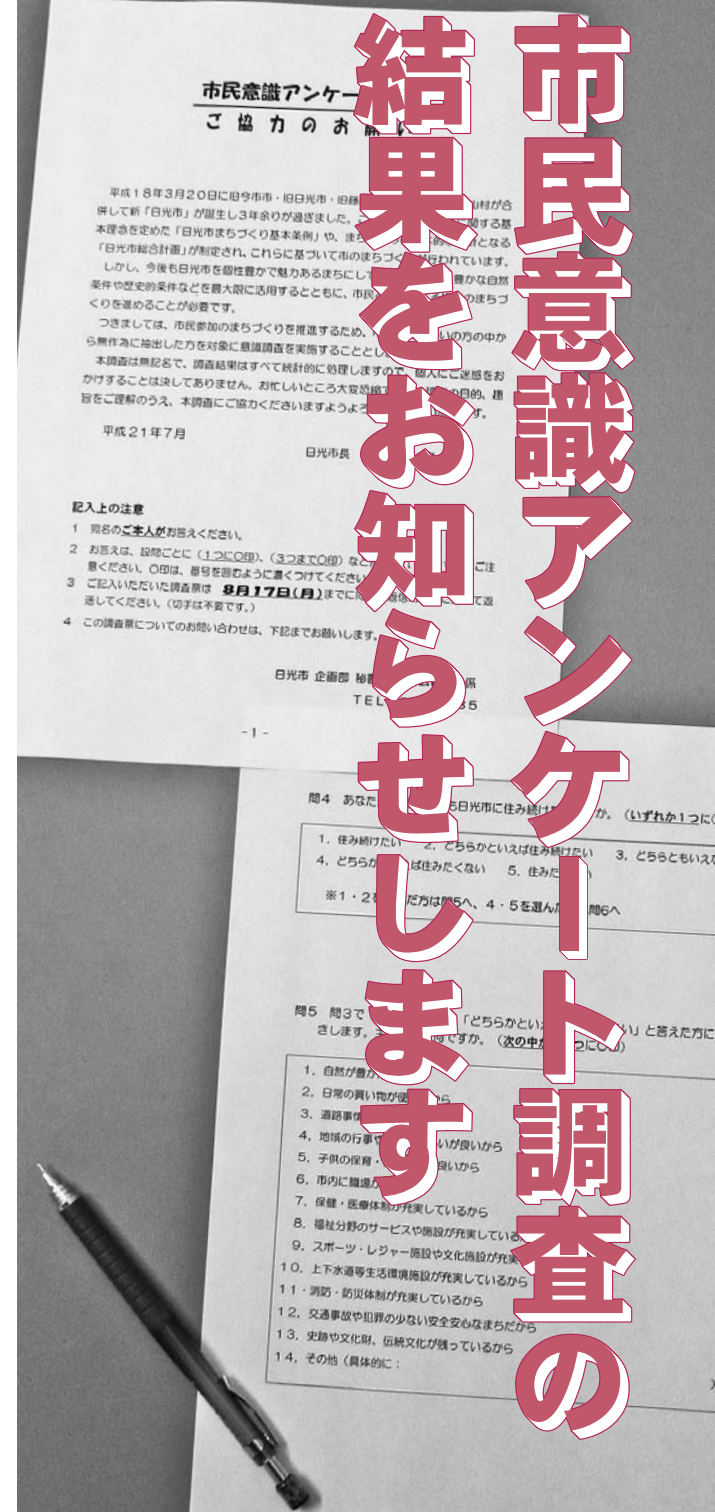
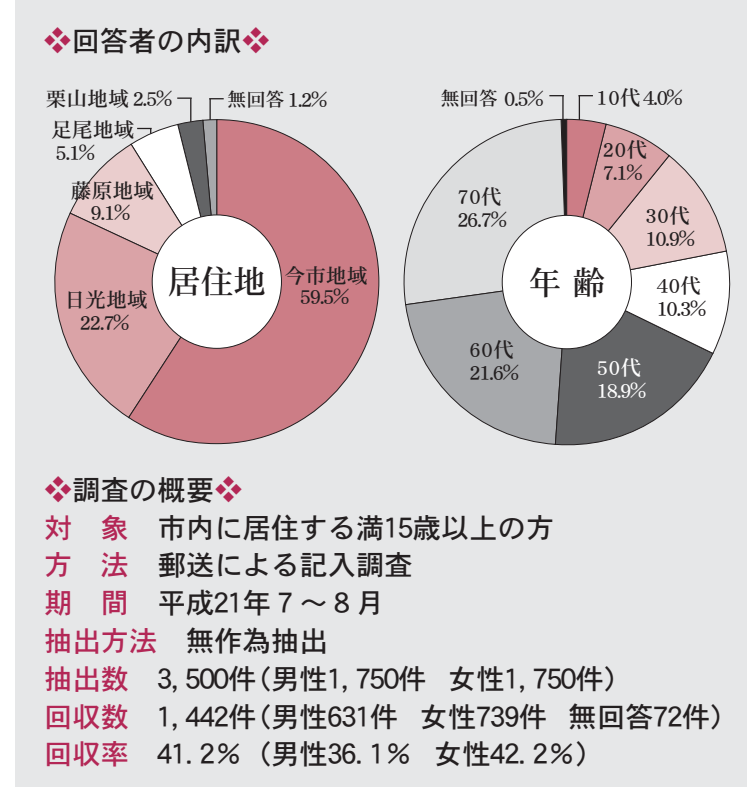
- 満足度が高かった項目**
- 自然環境の豊かさ
 - 火災や災害からの安全性
 - ごみの収集・処理の状況
 - 下水・排水の処理状況
 - 交通事故や犯罪に対する安全性
 - 働きがいのある職場
 - 交通機関の便利さ
 - 保健・医療サービスや施設の整備状況
 - 子育て環境や施設の整備状況
 - 福祉サービスや施設の整備状況



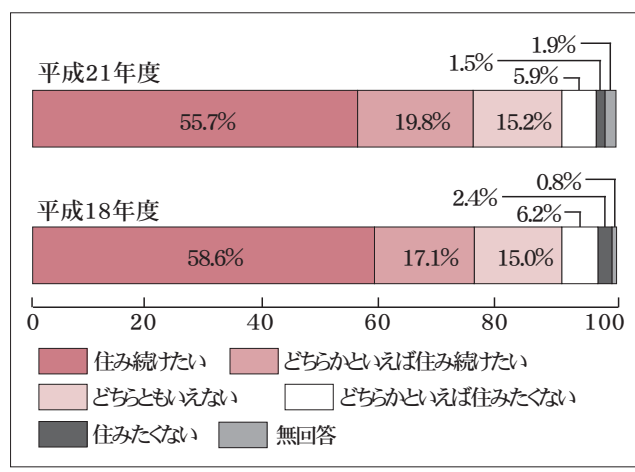
市では、まちづくりに関する基本理念を定めた「日光市まちづくり基本条例」や、まちづくりの基本的な指針となる「日光市総合計画」を制定し、これらに基づいてまちづくりを行っています。また、より一層市民参加のまちづくりを推進するため、平成21年度に「市民意識アンケート調査」を行いました。

今回は、調査項目の中から、特に関心の高いと思われるものについて、平成18年度に行った、「まちづくりに関する市民意識調査」と比較しながらお知らせします。

※比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。



市民意識アンケート調査の結果をお知らせします



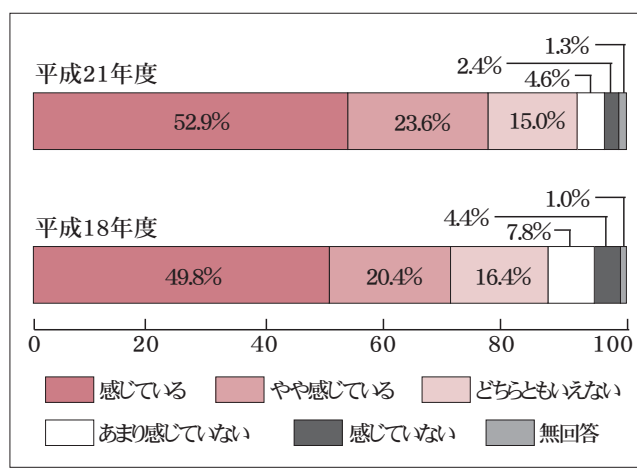
また、平成18年度の75.7%と比べ、定住意向については横ばいの傾向が見られます。

「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」主な理由

- 自然が豊かだから(77.1%)
- 史跡や文化財、伝統文化が残っているから(30.6%)
- 交通事故や犯罪の少ない安全安心なまちだから(25.6%)
- 日常の買い物や施設が充実しているから(58.5%)
- 道路事情や交通の便が悪いから(48.1%)
- 市内に適当な職場が少ないから(34.0%)

あなたは、これからも日光市に住み続けたいですか？

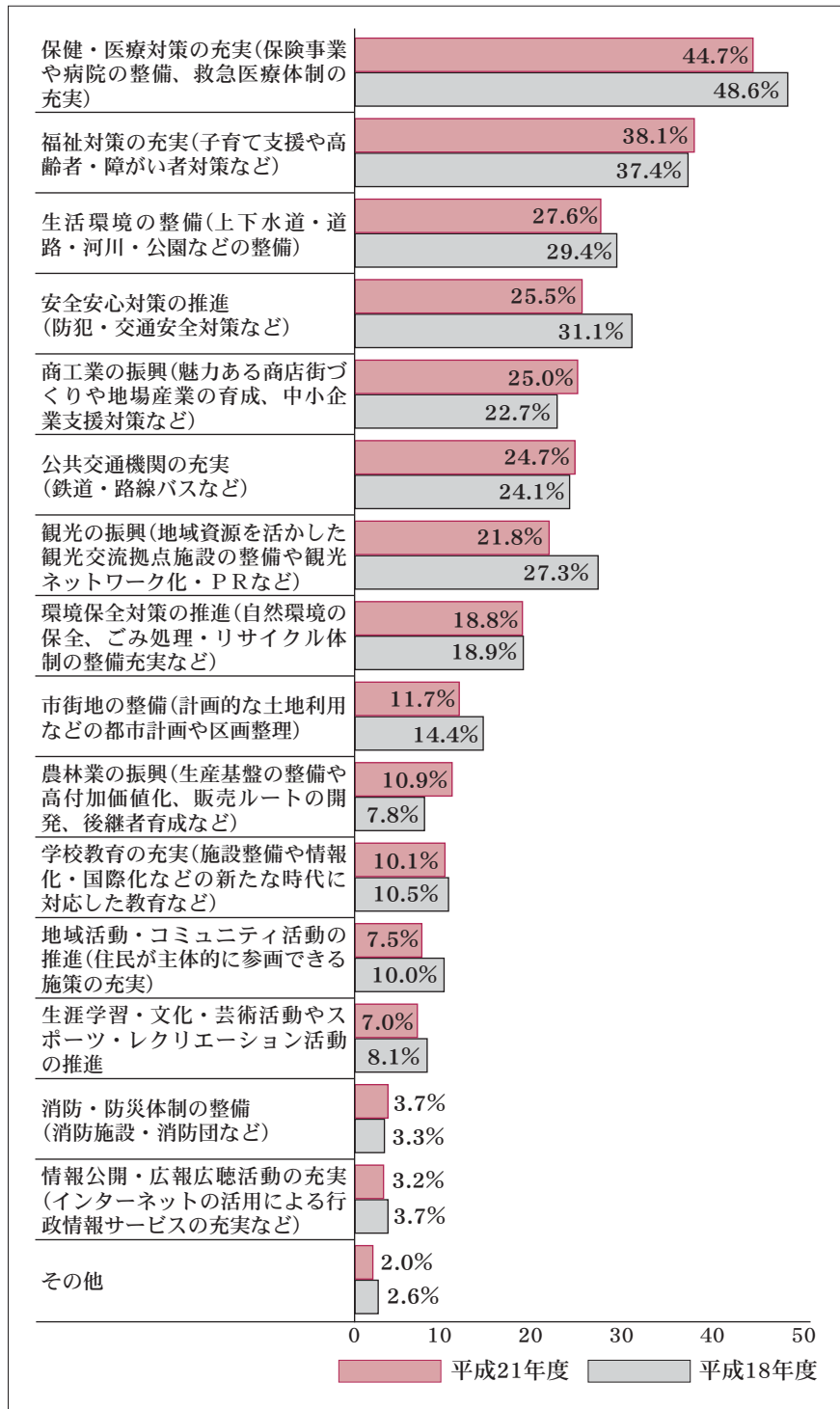
「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」という意見を合わせると、75.5%の人が、これからも住み続けたいと答えています。



あなたは、日光市に愛着を感じていますか？

「感じている」と「やや感じている」という意見を合わせると、76.5%の人が日光市に愛着を感じていると答えています。

また、平成18年度の70.2%から6.3%上がっており、愛着度が高まっている傾向が見られます。

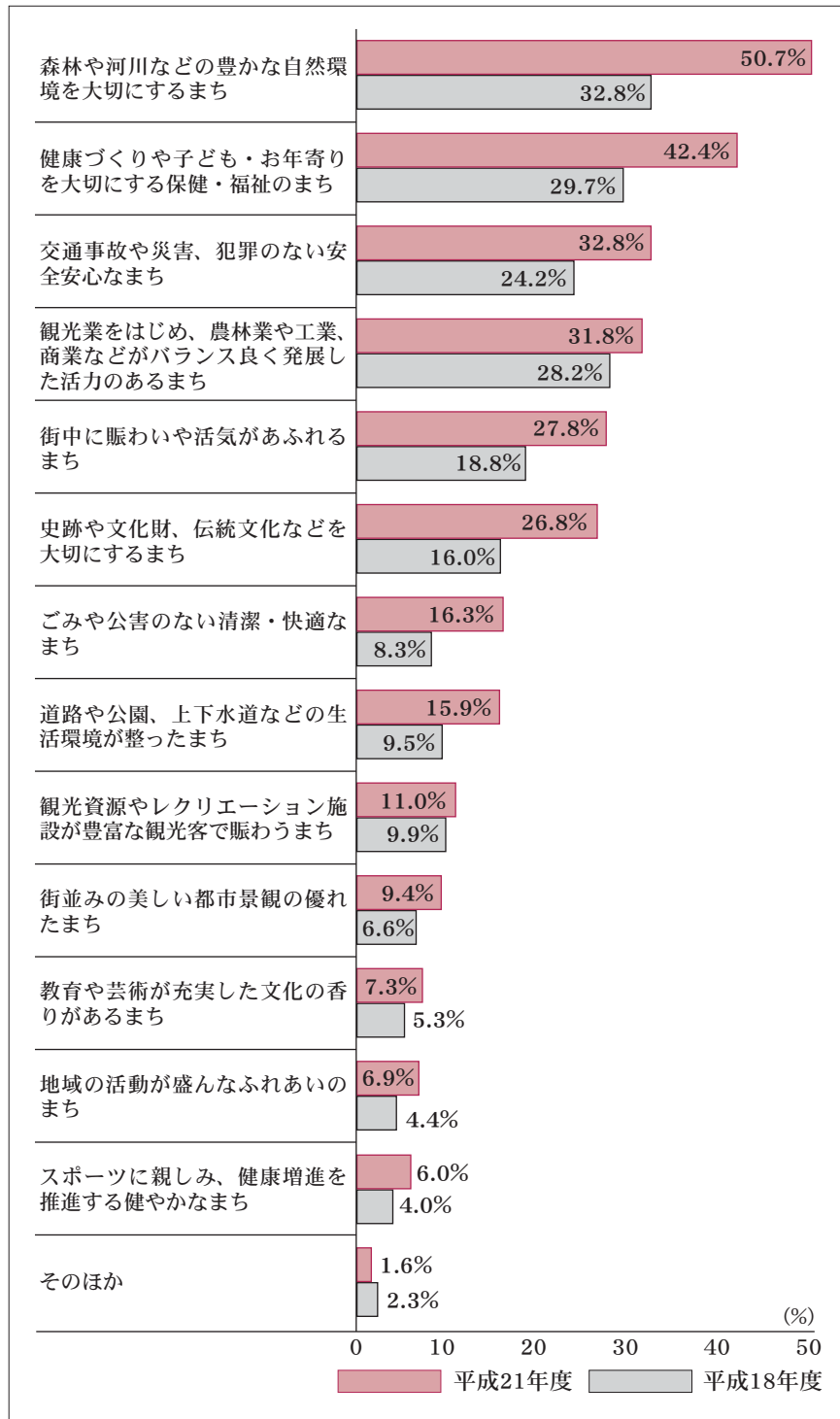


あなたは、日光市が重点的に取り組むべき施策は何だと思いますか？(3つ選択)

この設問は、市が重点的に取り組むべき施策を聞いたもので、市の施策に対する要望が現れています。「保健・医療対策の充実」が44.7%で第1位。次いで「福祉対策の充実」が38.1%、「生活環境の整備」が27.6%、「安全安心対策の推進」が25.5%の順でした。

回答結果の上位を見ると、平成18年度と同じように、保健・福祉分野や住環境などの施策に対する要望が強いことが分かります。

平成18年度と比べた場合、「安全安心対策の推進」と「観光の振興」の項目で5%以上下がっていますが、それ以外の項目では割合に大きな違いは出ませんでした。また、順位を見ると、3位と4位の項目や、5〜7位の項目などで、順位が入れ替わっています。



あなたは、将来の日光市をどのようなまちにしたいですか？(3つ選択)

※平成18年度は2つ選択

この設問は、日光市の将来のまちづくりのイメージについて聞いたものです。「森林や河川などの豊かな自然環境を大切にするまち」が50.7%で第1位。次いで「健康づくりや子ども・お年寄りを大切にする保

健・福祉のまち」が42.4%、「交通事故や災害、犯罪のない安全安心なまち」が32.8%、「観光をはじめ、農林業や工業、商業などがバランスよく発展した活力のあるまち」が31.8%の順でした。

平成18年度と比べた場合、平成18年度は2つ選択であったため、「そのほか」以外すべての項目で割合が上がっています。また、3位と4位の項目や、7〜9位の項目で、順位が入れ替わっています。



くわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21)51335
※調査結果については、市ホームページにも掲載しています。

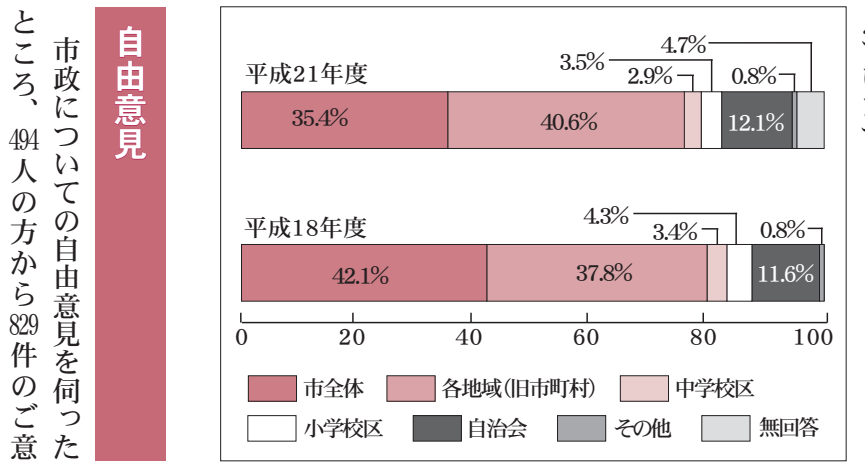
- 学校教育に関すること(30件)
- 合併に関すること(29件)
- 安全安心に関すること(23件)
- 高齢者に関すること(22件)
- 病院に関すること(22件)
- 子育て支援に関すること(21件)
- 景観に関すること(21件)
- 各種の健康・福祉・医療に関すること(17件)
- スポーツに関すること(16件)
- 商工業の振興に関すること(16件)
- ごみに関すること(15件)

自由意見

見・ご提案などをいただきました。意見の概要を分類・整理したところ、次のような結果となりました。

意見が多かった項目

- まちづくりに関すること(97件)
- 観光の振興に関すること(66件)
- 道路に関すること(66件)
- 市の職員に関すること(42件)
- 税金とその使い道に関すること(37件)
- 交通(バスや鉄道など)に関すること(32件)



あなたは、地域づくりやまちづくりを行う場合、一番ふさわしい単位は、どれだと思いますか？

地域づくり・まちづくりにふさわしい単位を伺ったところ、「各地域(旧市町村)」が40.6%と、一番多い結果となっています。

平成18年度と比べると、1位と2位が入れ替わっており、「市全体」が減り、「各地域(旧市町村)」が増えています。